

あいめーる

SPRING

令和6年5月30日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアビジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp

愛隣館通信



愛隣館家族報告懇談会

ケア課チーフ 富田 正美

令和六年三月八日(金)、愛隣館家族報告懇談会が行われました。昨年までの三年間はコロナ禍に見舞われて行うことができず、今年は四年ぶりの開催となりました。

平日にもかかわらず、三十二家族、四十七名のご参加をいただき、ありがとうございました。利用者の方々がご家族にお会いになった時、嬉しそうな表情や笑顔をされていたことが印象に残りました。

報告会后、利用者のご家族・職員が和やかな雰囲気の中で、一緒に食事を楽しみました。

その後の個別面談、食堂でのお茶会にもご参加いただき、ゆっくりお話できましたことを嬉しく思います。

久しぶりの開催で、初めてご参加くださったご家族の方々もいらっしやいました。

後日、八橋様ご家族よりお手紙をいただきました。

「先日は私たち多数の家族のためテーブル・食事の準備に大変お世話になり、ありがとうございます。

利用者の風呂場をみせていただき、うれしかったです。作業の大きさがよくわかりました。これからも又お世話になります」

心がほっこり温まるお言葉をいただき、とても嬉しくなりました。無事に開催できて良かったと思います。

来年度も、ご家族の方々のご参加を楽しみにしております。



令和六年度の始まりに

館長 三浦 貴子

四月には八名の新任職員の方を迎えて、愛隣館の三十七年目をスタートする事ができました。人ひとりが環境を変える力になります。大切に前へ進みたいと思います。

そして、石川県へ二人の職員が支援活動に向かいました。経験を共有すべく紙面報告致します。

五月の連休時には、厨房手作りの馬スジ煮込を能登・穴水町の施設に送り喜んで頂きました。八キロの食材提供は斉藤精肉店より。心から感謝申し上げます。

石川県能登半島地震 被災地協力支援

山鹿市基幹相談支援センター「ディア」
主任相談支援専門員 伊藤 裕之

今年の幕開けの元日に、能登半島地震が発生しました。時間が経過するともに地震による被災の状況が詳(つまび)らかとなり、私は何かしら被災地の力となれることが無いかを考えておりました。

そのような折、熊本県DWA(熊本県災害派遣福祉チーム)の要請により、3/2~3/10の期間、現地の15次避難所へ被災地支援に赴任してまいりました。

かなざわ総合スポーツセンターには二〇〇人ほどが避難生活を強いられ、避難所の運営管理、入所

者のニーズ聞き取りやアセスメント、退所支援に従事しました。

また、被害が甚大であった輪島市、穴水町の現場視察に赴き、「輪島の朝市」で有名な場所は火災により一面が焼け野原、まるで戦禍のごとく生々しく残っていて、心が痛みました。

輪島市役所や社協、ボランティアセンターよりヒヤリングし、寸断された水道設備があまりに被害が甚大で復旧の目途が全く立っていない、仮設住宅整備も始まったばかり等、課題も山積でした。今後も被災した石川の人たちの暮らしの再建が叶うよう願ってやみません。

ディケアチーフ 久武 康博

二〇二四年元日に起きた、能登半島地震(最大震度七)から五ヶ月が経ちました。今回、特に大きな被害を受けられた輪島市・珠洲市(くすし)の被災者が避難されている、金沢市のいしかわ総合スポーツセンター15次避難所に介護支援チームの一員として行ってきました。大きな体育館の中にプライベートルームテントが一

四〇張り設置してあり、そこに六十五名の方々が生活をされています。県職員、DWA(避難者のアセスメント、相談支援、各チームの連携調整)をはじめ介護福祉士、医師、看護師、栄養



士、保健師、ボランティアなど様々な専門職の人達が連携して働いていました。

活動初日、スタッフ間のミーティング時に、支援を必要とされる方のアセスメント等を引継ぎ、その中にクワキ サワヨ(仮名)さんという九十二歳の女性の事が議題にあげられました。この方は身の回りの事、生活全般で支援が必要であると聞きま



した。直接お会いすると険しい表情をされ、スタッフにも厳しい言葉で不満を言われました。この状態は良くないと思いました。直ぐに解決する事は出来ませんでした。翌日、ご本人の希望もありスタッフが外に散歩にお連れしました。二十分程でしたが帰ってこられた時の表情が穏やかになっていて、私にも話しかけて頂きました。その時、寄り添う事の大切さを改めて実感し、同時に私達の法人理念にある如己愛人を思いま

した。そして寄り添うという本当の意味が少し解った気がします。どんなに文明が発達しても、人間は人間の支援(思いやり)無しでは生きていけないのです。日々の私達の生活、仕事でも同じ事です。

最終日、クワキ(仮名)さんと一緒に写真撮影を撮らせて下さいとお願いしました。その際「これじやいかなね」と、胸元のボタンを付けられ、身だしなみを整えられました。その時の凛とした表情、笑顔が忘れられません。

● 県立劇場バックヤードツアー ●

ケア課サブチーフ 坂本 瀬里奈

三月十八日(月)熊本県立劇場にて、バックヤードツアーが行われ愛隣館から二名の方が参加されました。ツアーでは県立劇場の舞台裏や設備を見て回ることで、普段見ることのない光景に皆さん興奮されている様子でした。

実際に舞台上で使用するピアノやチェロなどの珍しい楽器に触れ、芸術を体験する良い機会となりました。

ツアーの最後には生演奏が行われ、ホールに響く演奏は迫力満点で、とてもきれいな音色でした。建物にはスロープや、車椅子専用観覧席も完備されており、障害の有無に関わらず芸術鑑賞を楽しむことができました。



愛隣館通信

あいめーる

令和6年(2024年)

春号

★ 「骨なし灯籠」映画鑑賞 ★

入居者

船津 美恵

四月十七日(水)、職員さんと熊本市内へ骨なし灯籠の映画を観にいきました。映画館に行くのは生まれて初めてで、テレビとは比べものにならない大

迫力でした。映画の中で、山鹿の街並みが出てきて「ここ知っている。見たことある」という場面がいっぱいありました。

お昼ご飯は、映画館の一階にあるフレッシュユネスバーガーでハンバーガーとポテトを食べました。久しぶりのハンバーガーはとっても美味しかったです。骨なし灯籠の映画は九十六点で、今日の日はみんなと食事もできて、とても楽しく100点でした。今度は映画館でアニメが観たいです。

* 同伴者：納富久・平野 沙織

聞き取り：キャリアピジョン

入居者

村上 浩子

久しぶりに外出した。「骨なし灯籠」を見ました。そのあとが楽しかったけど三人に迷惑をかけたみたいですが。しかし彼女たちは「大丈夫」と言われ色々なところへ行きました。久しぶりの外出(熊本)、私が見つかったので三人の女性方は私よりきつかったと思います。

あの灯籠は、四十年前に私がゴルドの灯籠をかぶって写真を撮りました。というのも、うちの母が灯籠人形を作っていたので人形の作り方も知っていて出来上がった時、これに「灯籠をかぶせるの



よ」と母が言っていたので、すごくすごく懐かしかったです。連れて行ってくれた職員様、大変ありがとうございました。

みなさん身体に気を付けて今後もしっかりお願いします。

* 同伴者：中島 愛(写真)・坂本 瀬里奈・二村 杏佳
新任職員研修の一環として、四月三日より五月八日まで(毎水・六回)企画。利用者八名と職員十九名が参加。バリアフリーの重要性を改めて実感し、住んでいる山鹿市の良さを再発見した良い一日となったようです。電気館の方、大変お世話になりました。

★ 新しい仲間 ★

入居者

岩下 美和



こんにちは。四月から愛隣館に入居しました岩下美和です。愛隣館の前はもくせい学園のグループホームで生活していました。

新しい生活が始まったばかりですが、皆さんに優しくしてもらって毎日が楽しみです。出来る事はなるべく自分でしながら生活出来たらと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

明るい雰囲気が好きなので見かけたら是非話しかけてくださいネ!!

(代筆：担当 渡辺仁美)

菊鹿ハイク&いちご狩り

令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号

令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号

令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号



令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号

令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号
令和六年（2024年）春号

24時間テレビ

福祉車両贈呈式

サービス管理責任者

古川 和代

令和六年三月十八日、日本テレビのチャリティ番組「24時間テレビ「愛は地球を救う」」から、日産キャラバン（介護用リフト付車）をいただきました。令

和五年度、県内四団体に福祉車両四台が贈られた中の一台です。

熊本県民テレビ社屋で行われた贈呈式では、厳かな雰囲気の中、KKKト社長宗田英成氏より館長へ目録が手渡されました。

今後、利用者の通院やアクティビティなどの外出に大いに活用させていただきます。善意の心が詰まった貴重な車です。大事に使用していきたいと思えます。



第23回くまもと障がい者スポーツ大会・ボッチャ大会

理学療法士

平野 沙織

五月十二日（日）植木中央公園体育館にてボッチャ競技大会が開催され、県内より二十二名の選手が「立ち」「座り」に分かれて試合に臨んだ。愛隣館からは福原隆博さん、日永敏子さん、中本あけ美さん、愛隣倶楽部から山下四季子さんが出場。初出場となった日永さんが山下さんとの



三位決定戦の末、入賞を果たした。出場者からは緊張したけど楽しかった」「来年は全国へ」などの意気込みもきかれた。

今回初めてスポーツ大会に参加し、障がい者の方々の普段見る事の出来ない真剣な表情や緊張感を間近で感じ、私自身スポーツの素晴らしさや楽しさを再確認できる良い機会となった。

利用者の日常風景の1コマ

淵上年孝さん

趣味の園芸のきっかけは、日中活動の植木市見学でした。

野中翠さん

お気に入りのクンクンといつも一緒です。



お知らせ

◆熊本県福祉サービス第三者評価結果公表

第三者評価の結果は左記の熊本県ホームページよりご覧いただけます。（www.pref.kumamoto.jp）

↓キーワードでさがす↓第三者評価結果↓福祉サービス第三者評価 評価結果公表（令和5年度3月公表） - 熊本県↓障害者支援施設

新人職員紹介

① 大切にしていること（価値観）

② 抱負

*令和五年十二月から令和六年四月に入職された方々を紹介しています。



氏名：金森大輔（かなもの だいすけ）
入職：令和六年四月
所属：愛隣倶楽部 支援員

① 人生を楽しむためには、自分はどう行動するのか。

② 日々色々な人と出会い、経験を積むことで器の広い人間になりたい。



氏名：櫻間靖彬（さくらま しょうあき）
入職：令和六年四月
所属：相談支援部 相談支援員

① 何事にも責任を持って取り組む。

② 何事にも一生懸命に取り組み、一日でも早く利用者さんのお役に立てるようになりたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどお願いします。



氏名：鹿田良美（しかだ よしみ）
入職：令和六年四月
所属：デイケア部 支援員

① 人との縁や繋がり。

② 利用者の方が「今日も一日楽しかった、来て良かった」と思える様な、気持ちに寄り添ったケアをしていきたい。



氏名：平山智恵（ひらやま ちえ）
入職：令和六年四月
所属：看護課

① 人との繋がりと、一緒に過ごしているワンコとの時間。

② まだまだ未熟者ですが、普段の生活やパラスポーツを通してみんなの楽しみに繋がることをしていきたいです。

先輩職員からのメッセージ

ご入職おめでとうございます。心から歓迎いたします。新しい職場でのスタートは、期待と不安が入り混じったものかもしれませんが、仕事を通じて様々なことに挑戦してください。そこで得た経験はきっと皆様の人生の財産になるはずです。もし不安なことがあるときは、遠慮なく先輩職員を頼ってください。

法人愛隣園の理念の下、愛隣館の一員として利用者の安心安全な生活と楽しみのために一緒に頑張ってください。よろしくお願いいたします。

相談支援部 チーフ 松永清孝



氏名：江崎舞（えぎまきまい）
 入職：令和五年十二月
 所属：愛隣倶楽部 支援員

- ① 利用者の方の気持ちに寄り添いたいと思います。
- ② 少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。



氏名：緒方美代子（おがたまよこ）
 入職：令和六年四月
 所属：愛隣倶楽部 看護師

- ① 自分がされて嫌なことは人にもしない、笑顔で過ごす。
- ② 利用者さんが笑顔で過ごされ、行って良かった。また行きたいと思っ
て頂けるように顔晴りたいと思います。



氏名：古閑裕子（こがひるこ）
 入職：令和六年四月
 所属：デイケア部 厨房

- ① 利用者との笑顔で接する日々。
- ② 利用者の方が食事を摂られる際、美味しく食べて頂けるように努力し
たいと思います。



氏名：佐藤春美（さとう はるみ）
 入職：令和六年四月
 所属：食生活課

- ① 挨拶をするという事を大切にしています。
- ② 今までと全く違う職種に携わる事となり慣れないことばかりですが少
しでも早く慣れて覚える様に努力していきたいと思ひます。



氏名：竹田美紀（たけだ みき）
 入職：令和六年一月
 所属：食生活課

- ① 全てにおいて前向きに頑張ろうと決めています。
- ② 福祉施設の食事は、利用者ごとに形態も内容も様々なので学ぶことが
沢山ありますが、一生懸命励んでいきたいと思ひます。



氏名：福島賢一（ふくしま けんいち）
 入職：令和六年四月
 所属：デイケア部 支援員

- ① 人を尊敬し継続していく事。
- ② 今までの経験を活かしながら、諸先輩方の指導のもと一から頑張っ
ていきたいと思ひています。